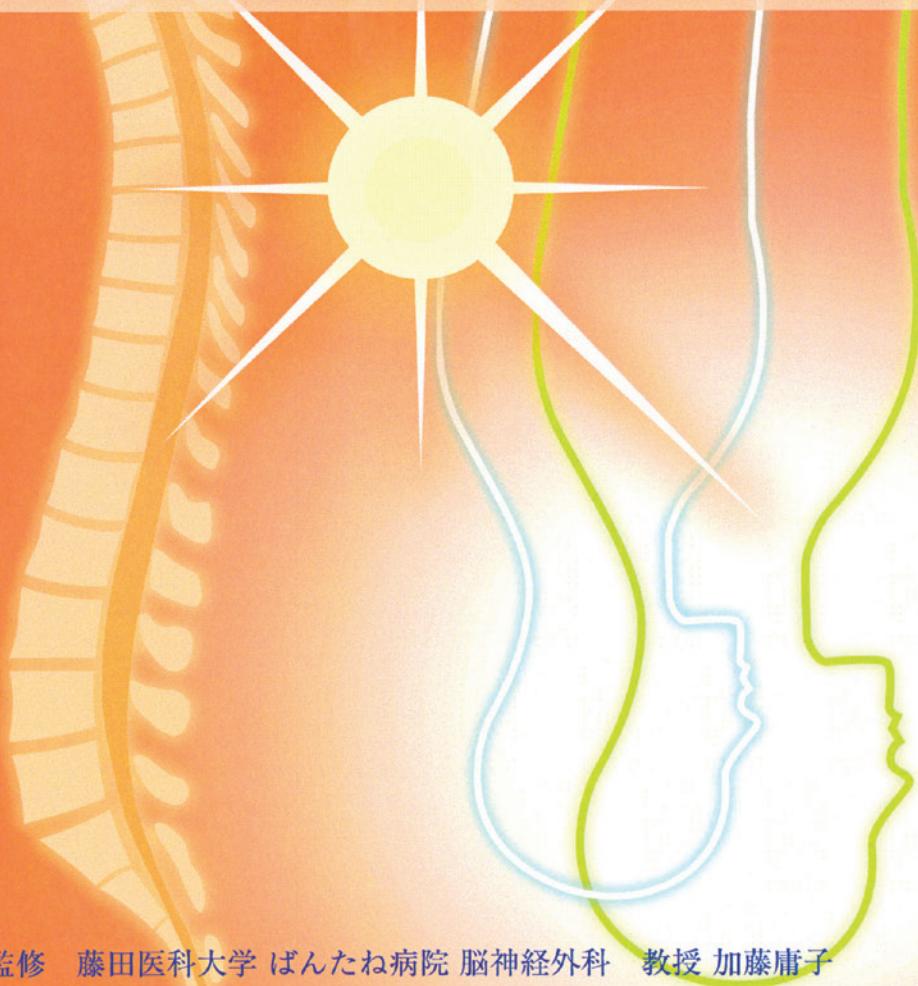


◆◆◆原因の追求・そして早めに治療を◆◆◆

脊椎・脊髄の病気



1

頸椎の病気

頸椎は頭蓋骨につながっていて、第2頸椎以下は椎骨が椎間板をはさんで並んでいます。それぞれの椎骨により囲われた脊柱管の中に、脊髄が存在します。また、椎骨と椎骨の間には、脊髄から左右に枝分かれした神経根が通る椎間孔という隙間があります。

このような構造により、大切な神経が守られていますが、加齢とともにうつ変化により、神経の通る隙間が狭められ、症状が発生します。

頸椎の病気では、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症、頸椎後縦靭帯骨化症が代表的であり、どれも変性疾患になります。すなわち年をとるにつれ、これらの病気の頻度が多くなります。病態は少しづつ違いますが、基本的には頸部痛、腕や手のしびれと痛み、脱力、握力低下、細かい手作業ができない、歩きにくいなどの症状が出現します。



●頸椎椎間板ヘルニア
(けいついついかんばんへるにあ)



●頸椎症
(けいついしょう)



●頸椎後縦靭帯骨化症
(けいついこうじゅうじんたいこっかしょう)



2

頸椎椎間板ヘルニア

頸椎椎間板ヘルニアは、椎体と椎体の間にある椎間板が変性して脊柱管内にとびでて、脊髓や神経根を圧迫する病気です。若い人にも時々見られます。また事故などのむち打ち症にも、合併することがあります。

頸椎椎間板ヘルニアの症状は、圧迫されている部位によって異なりますが、首の痛みやこり、手足の痛みやしびれなどがあります。

脊髓が圧迫されている場合は、脊髓症状といって、手のしびれや運動障害が両側で発生するか、最初は片側だけでも後から反対側も現れることが多いです。また、足にも同様の障害が現れ、歩行障害に加えて膀胱、直腸障害がみられることがあります。

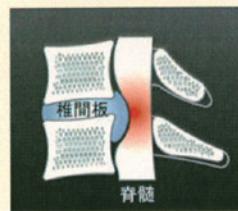
神経根が圧迫されている場合は、神経根症（根性疼痛）という、首や肩の後ろ側や圧迫されている神経根の支配領域の手指にかけて痛みがあり、しびれや知覚異常などがみられます。



MRI画像



上から見た図



横から見た図

3

頸椎症（けいついしょう）

頸椎症は、椎体の後面の椎間板に接している部分に軟骨が形成され、脊髓や神経根を圧迫します。この病態はほとんどが50歳台以後に発生し、加齢とともに増加する傾向にあります。時に頸椎にズレを生じ、すべり症が合併します。

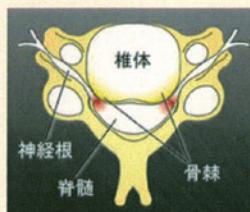
頸椎症の症状は、圧迫されている部位によっても異なりますが、首の痛みやこり、手の痛みやしびれなどがあります。

脊髓が圧迫されている場合は、頸椎症性脊髓症といって、手のしびれや運動障害が両側で発生するか、最初は片側だけでも後から反対側も現れることがあります。また、足にも同様の障害が現れ、歩行障害に加えて膀胱、直腸障害がみられることがあります。

神経根が圧迫されている場合は、頸椎症性神経根症といって、首や肩の後ろ側や手指にかけて痛みがあり、圧迫されている神経根の支配領域のしびれや知覚異常などがみられます。



MRI画像



上から見た図

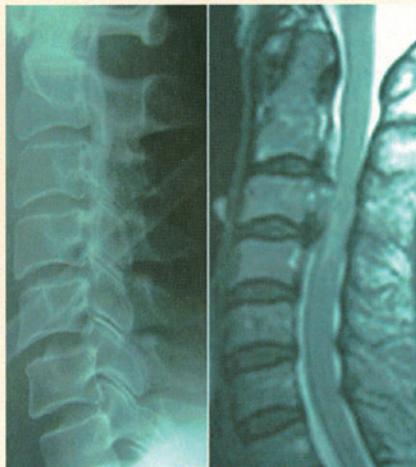


横から見た図

4

頸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)

頸椎後縦靭帯骨化症(けいついこうじゅうじんたいこつかしょう)は日本人に特有の病気で、他の国で見かけることはめったにありません。英語でossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL)と呼ばれます。症状は四肢の知覚障害、手指の巧緻運動障害、歩行障害など他の頸椎疾患と類似しますが、比較的ゆっくり症状が進行する特徴があります。重症になると、上肢の筋肉の萎縮を伴ってきます。あまり進行しすぎると治療も困難になり、症状の改善も困難になります。この病気は脊椎椎体骨のうしろにある後縦靭帯という組織が何らかの原因(不明)で骨化・肥大し、脊髄を圧迫するものです。この病気は単独で起こることもありますが、頸椎症などに合併して起ることもあります。



A

B

MRI画像

A: 頸椎の側面像にて第1頸椎から第5頸椎にかけてのOPLLが認められる。
(椎体後面の白色部分)

B: MRIにて同部位の脊髄が強く圧迫を受けている。



上から見た図



横から見た図

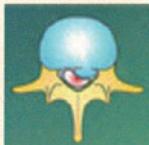
5

腰椎の病気

胸椎から連なる腰椎は、5つの椎骨が椎間板をはさんで並んでいます。その下には骨盤が位置しています。腰部脊柱管の中には、脊髄から枝分かれした馬尾神経と呼ばれる、腰仙髄神経根が集っています。上下の椎骨の間には神経根が通る椎間孔という隙間があり、左右に神経根が下肢へ向かって出ています。

このような構造により大切な神経が守られていますが、加齢とともに変性により神経の通る隙間が狭められると様々な症状が発生します。

ここでは、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症を中心解説します。これらは腰椎の変性疾患であり、基本的には年齢とともに増加する傾向にあります。症状は腰痛、下肢痛、下肢筋力低下、間欠性跛行（時々休憩しないと足が出にくくなる、長い距離が歩けない状態）などが主なものです。



●腰椎椎間板ヘルニア
(ようついついかんばんへるにあ)



●腰部脊柱管狭窄症
(ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう)



●腰椎すべり症
(ようついすべりしょう)



6

腰椎椎間板ヘルニア

腰椎椎間板ヘルニアは、椎体と椎体のあいだにある椎間板が変性脱出し、脊柱管内にある神経を圧迫し症状を出します。

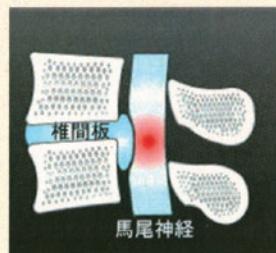
主な症状は、腰痛と下肢痛、筋力低下や感覚障害などです。坐骨神経痛の原因となっているのも、腰椎椎間板ヘルニアがほとんどです。また、膀胱直腸障害を発症することもあります。



MRI画像



上から見た図



横から見た図

7

腰部脊柱管狭窄症

腰部脊柱管狭窄症（ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう）は、先天性のものもありますが、多くは50歳代から始まります。神経が脊柱管内で全周性に圧迫され、狭窄を起こします。その原因は椎間板ヘルニアもある程度関係しますが、多くの場合は脊椎の椎間関節という部分が肥厚して脊柱管内に入り込んだり、黄靭帯という組織が肥厚して脊柱管を狭窄するのに起ります。

最も典型的な症状は間欠性跛行といって、休み休みでないと長い距離が歩けなくなる症状です。休む場合に、前かがみになると楽になります。楽になる理由は、神経を圧迫している黄靭帯が前かがみになることで引張られて、圧迫が少なくなるからです。

自転車はこげるけれど、歩くことがつらいのが間欠性跛行の1つの特徴です。

MRI画像



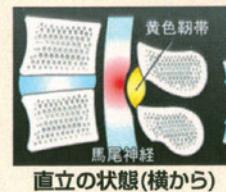
正常な椎間関節(上から)



肥厚した椎間関節(上から)



前かがみの状態(横から)



直立の状態(横から)

8

腰椎すべり症

腰椎すべり症は、上方の椎体が前方にずれてしまう病態です。多くは変性すべり症といって加齢とともに脊椎の関節や靭帯がゆるんできて、脊椎をまっすぐ支えられなくなるために起こります。

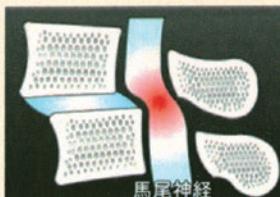
アーチ状の構造をした椎骨が連なってトンネル状になったものが脊柱管と呼ばれ、その中を馬尾神経がとおっています。したがって、並んでいる椎骨がずれると、その部分は狭くなり神経が圧迫されます。

腰が曲がっている人の多くが、この状態です。脊柱管狭窄症を合併することが殆どです。症状は腰痛が最も多く、歩行障害（間欠性跛行）や下肢のしびれが代表的です。

MRI画像



肥厚した椎間関節(上から)



直立の状態(横から)

9

治療法

治療の前に、まず、正しい診断をつけます。診断はMRI（核磁気共鳴像）、CT（断層写真）、レントゲンなどから得られる画像と、神経学的所見とあわせて専門医による総合的な判断によりなされます。特にMRIは有用な診断装置であり、ほとんどの疾患が診断可能です。

診断結果を解説し、患者さんのご要望も取り入れつつ、専門の医師による治療が行われます。通常は1ヶ月くらい頸部、腰部の安静をしつつ、お薬による鎮痛や筋肉のはりやこりをとり、必要であればマッサージ、低周波治療、牽引などのリハビリテーションを行います。このような治療をしても症状が改善しない場合には、手術が必要となることがあります。

脊椎・脊髄の手術は、以前は怖い手術と考えられていました。しかし手術用顕微鏡の開発、低侵襲手術によりかなり安全に、かつ効果的に行えるようになりました。また脊椎脊髄外科専門医制度も発足し、専門的な知識や手術技能、経験豊富な医師がかかわるようになり、手術成績は飛躍的に向上しています。

この冊子を読んでもしご自分に似たような症状がある場合には、ぜひ一度ご相談下さい。

MEMO

緊急のご相談窓口

藤田医科大学 ばんたね病院

愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-6-10

TEL: 052-321-8171 加藤庸子携帯: 090-3258-5646



一里山・今井クリニック

〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町中本山88番地

TEL: 0566-26-6700 (クリニック受付)

0566-26-6706 (健診受付)

FAX: 0566-26-6701

E-mail: kenko@imai-clinic.com

公共交通機関でのアクセス方法

●名古屋方面から

*名鉄名古屋より東岡崎・豊川稲荷・豊橋方面行きに乗車

名鉄名古屋駅 → 知立 → 一里山町北口
特急20分 → 名鉄バス15分

●豊田方面から

*豊橋方面より名鉄名古屋・名鉄岐阜行きに乗車

豊橋 → 知立 → 一里山町北口
急行(快速急行含む)28分 → 名鉄バス15分

